

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01新設工事費

事務事業番号 01010101

事業名		新設事業		担当部署	上下水道部 水道整備課					
根拠法令		水道法								
令和2年度決算額		115,983	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金	27,155	千円							
	地方債	75,811	千円							
	その他	6,673	千円							
	一般財源	6,344	千円							
事業費（総計）		115,983	千円							
決算額		115,983	千円							
人件費		0	千円	総合評価 <b>A</b>						
事業の目的		給水区域内未給水地区の解消を行い、水道水利用率の向上を図ります。災害時応急給水拠点の配置計画に則して、緊急貯水槽を設置し、応急給水体制の充実を図ります。								
事業の内容		<p>1 配水管の新設 錦岡地区、日吉町、矢代町に新たに水道管を布設しました。</p> <p>2 緊急貯水槽の整備 常時清潔な飲料水を貯留する機能を有した、緊急貯水槽を避難所に指定されている東小学校へ設置しました。</p> <p>3 消火栓の新設（負担金事業） 北栄町、明野元町、新明町に新たに消火栓を設置しました。</p>								
SDGs17の目標										
実施結果（活動指標）		指標名				単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		給水普及率				%	99.96	99.96	99.94	
		緊急貯水槽整備率				%	82.35	76.50	70.60	
項目評価		高 → 低			評価の理由					
		4	3	2	1					
有効性		●				全ての水道施設を早期に耐震化することは困難ですが、避難所に緊急貯水槽を設置することで災害時の水を確実に確保できるため、応急給水対策として有効な手段になります。				
効率性		●				市内に緊急貯水槽をバランスよく配置することで、災害時の応急給水活動を効率的に実施することができます。				
公平性		●				それぞれの緊急貯水槽で、周辺住民の生命維持に必要な水量を確保する計画となっており、事業完了をもって市内全域において被災時の飲料水が確保されます。また、配水管の新設により未給水地区の解消につながります。				
将来性		●				水道は地域における共有財産であり、継続的な取組によって将来にわたり健全かつ安定的な事業運営を持続可能なものとしします。				
総合評価		<b>A</b>			項目評価のとおり各評価は高くなっており、本事業は災害時等の応急給水対策を充実させる重要な取組であるため、今後も継続的に実施する必要があると考えています。					
特記事項		事業費に人件費は含まれています。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02改良工事費

事務事業番号 01010202

事業名		改良事業		担当部署	上下水道部 水道整備課																	
根拠法令		水道法																				
令和2年度決算額		1,131,920	千円	項目評価																		
財源内訳	国道支出金	74,300	千円																			
	地方債	966,689	千円																			
	その他		千円																			
	一般財源	90,931	千円																			
事業費（総計）		1,131,920	千円	総合評価	A																	
決算額		1,131,920	千円																			
人件費		0	千円																			
事業の目的		老朽化した管路は、管路内の錆などにより濁水が発生しやすくなるほか、耐震性も低く、地震被害を受けやすいため、耐震化することにより、使用者へ安定した給水が図られます。また、水道施設の耐震化を図ることで、地震被害を最小限に抑制し、災害発生時においても、継続的に配水できる水道システムを構築します。																				
事業の内容		<p>1 老朽管の更新 勇払地区、錦岡地区などで老朽化が進んだ管路を新しい管路に更新しました。</p> <p>2 老朽化施設の更新 錦多峰浄水場、錦岡オーシャンヒルズポンプ場などの老朽化した施設を更新しました。</p>																				
SDGs17の目標																						
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老朽水道管の更新率</td> <td>%</td> <td>89.01</td> <td>87.10</td> <td>85.21</td> </tr> <tr> <td>水道施設の耐震化率</td> <td>%</td> <td>84.21</td> <td>84.21</td> <td>84.21</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	老朽水道管の更新率	%	89.01	87.10	85.21	水道施設の耐震化率	%	84.21	84.21	84.21		
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																		
老朽水道管の更新率	%	89.01	87.10	85.21																		
水道施設の耐震化率	%	84.21	84.21	84.21																		
項目評価		高 → 低				評価の理由																
		4	3	2	1																	
有効性		●				老朽化した管路等は、漏水や破損事故等によって断水被害が発生するリスクがありますが、管路・施設を更新することで耐震性能などの機能が向上し、市民に与える影響を最小限に抑制することができます。																
効率性		●				管路・施設の更新は、老朽度や重要度等を勘案して優先順位を定めて効率的に実施しています。また、長期の耐久性がある管を採用することや予防保全による維持管理を実施することで、延命化を図り更新費用を抑制しています。																
公平性		●				管路・施設を順次更新することで、水道システム全体としての機能を維持しているため、利用者全体の公平性を確保しています。																
将来性		●				老朽化した管路・施設の更新については、継続的な取組によって将来にわたり健全かつ安定的な事業運営を持続可能なものとします。																
総合評価		A				項目評価のとおり各評価は高くなっており、本事業は水の安全性、安定性を維持していくためには重要な取組であるため、今後も継続的に実施する必要があると考えています。																
特記事項		事業費に人件費は含まれています。																				

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 03量水器施設費

事務事業番号 01010303

事業名		量水器施設事業		担当部署	上下水道部 水道管理課																				
根拠法令		計量法及び同法施行令、苫小牧市水道事業給水条例及び同条例																							
令和2年度決算額		374,847	千円	項目評価			総合評価																		
財源内訳	国道支出金		千円																						
	地方債		千円																						
	その他		千円																						
	一般財源	374,847	千円																						
事業費（総計）		381,116	千円																						
決算額		374,847	千円																						
人件費		6,269	千円																						
事業の目的		水道使用者への料金請求根拠となる水道使用量を計量するため、計量法で定められた検定有効期間が満了となる水道メーター（以下「検満メーター」という。）の取替え及び、工事に必要なメーターの購入、並びに家屋の新築等に伴う貸し付けに必要な新設メーターの購入を目的としています。																							
事業の内容		<p>1【検満メーター取替工事】 計量法で定められた水道メーターの検定有効期限（8年）を迎える貸し付け水道メーター（11,857箇所）の取替工事を実施しました。</p> <p>2【検満メーター購入】 上記検満メーター取替工事に必要となる貸し付け用の水道メーター11,857個購入しました。</p> <p>3【新設メーター購入】 家屋の新築等に伴い、新たに貸し付けする水道メーターを1,065個購入しました。</p>																							
SDGs17の目標																									
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 検満メーター取替工事</td> <td>箇所</td> <td>11,857</td> <td>13,927</td> <td>10,205</td> </tr> <tr> <td>2. 検満メーター購入数</td> <td>個</td> <td>11,857</td> <td>13,927</td> <td>10,205</td> </tr> <tr> <td>3. 新設メーター購入数</td> <td>個</td> <td>1,065</td> <td>995</td> <td>1,174</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	1. 検満メーター取替工事	箇所	11,857	13,927	10,205	2. 検満メーター購入数	個	11,857	13,927	10,205	3. 新設メーター購入数	個	1,065	995	1,174
指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度																					
1. 検満メーター取替工事	箇所	11,857	13,927	10,205																					
2. 検満メーター購入数	個	11,857	13,927	10,205																					
3. 新設メーター購入数	個	1,065	995	1,174																					
項目評価		高 → 低				評価の理由																			
		4	3	2	1																				
有効性		●				水道メーターは、水道料金の根拠となる水道使用量を計量するための重要な器具であり、計量法に基づく定期的な交換及び、家屋の新築等に伴い水道メーターを貸し付けすることは、水道事業にとって必要不可欠です。																			
効率性		●				水道事業全体の効率化に繋がるよう、製品メーカーの新たな技術導入により制作された水道メーターへの仕様変更等を行っています。																			
公平性		●				水道メーターは、JIS基準により製作され、計量法に基づく交換工事により公平かつ公正な水道料金の徴収に繋がっています。																			
将来性		●				水道メーターは、水道料金の根拠となる水道使用量を計量する重要な器具であることから、計量法に基づき継続的に事業を執行する必要があります。																			
総合評価		A				本事業は、水道事業の根幹である料金収入に直結しており、計量法に基づく検満メーターの取替工事及び、新築等に伴う新たな水道メーターの貸し付けは、継続的に実施する必要があります。																			
特記事項																									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 06固定資産取得費

事務事業番号 01010604

事業名		固定資産整備		担当部署	上下水道部 総務課			
根拠法令		水道法						
令和2年度決算額		3,119	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	3,119	千円					
事業費（総計）		3,119	千円					
決算額		3,119	千円					
人件費		0	千円					
事業の目的		水道水の安全性を確保するため、水質検査機器の購入を行いました。また、使用水量や水道工事等に伴う放水量を正確に計測するため、必要な機器を購入するほか、執務上必要となる機器の更新を行いました。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>水質を検査するための機器 超純水製造装置 1台 純水製造装置 1台</li> <li>水道工事等に伴う放水量を計測するための機器 電磁式水道メーター 1台</li> <li>メーターに記録された使用水量を読み取る機器 ロードサーベイ専用タブレット 1台</li> <li>設計図等を印刷するためのプリンタ 大型プリンタ 1台</li> <li>口座振替の申請処理手続きを簡素化するための機器 Pay-easy（ペイジー）端末 2台</li> </ol>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度
		機器・装置の購入			台	7	3	4
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				水質・水量の正確な計測のための機器の導入・更新は、更なる正確な水道水質の安全性の確認や配水量及び漏水量の把握に寄与しています。		
効率性		●				必要最低限の経費で、迅速な検査・口座手続サービスの提供等、執務体制がより効率的に運営されています。		
公平性		●				水質検査機器は、水道法に定められた水質基準を満たすかどうかを検査するために必要であり、水道水を利用する受益者負担の原則に適います。		
将来性			●			漏水調査・口座振替手続の簡素化等により、現状の取組推進に貢献していくと考えられます。		
総合評価		A				項目評価のとおり目的に合った固定資産の整備ができています。翌年度以降もより効果的な事業とするため、導入予定の固定資産の有効性、業務効率化について十分検討し、費用対効果の高い資産整備を実施していきたいと考えています。		
特記事項		※事業費に人件費は含まれておりません。						